

指標候補一覧

※検討中であり、今後見直しの可能性があります。

【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○保護者が家庭教育について学んだ園の割合 (「親の学び」講座等を実施した園の割合)	【調査名】「親の学び」講座等実施状況調査 【実施主体】県 【調査対象等】就学前施設(熊本市を除く)	55.1%	80%
○市町村における家庭教育支援員の配置の割合	【調査名】実績取りまとめ 【実施主体】県 【調査対象等】各市町村(熊本市を除く)	9%	50%

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童生徒の割合	【調査名】心のアンケート 【実施主体】県 【調査対象等】小・中・高等学校・特別支援学校の児童生徒(熊本市を除く)	調査予定	前年度を上回る
○いじめを受けた児童生徒で、誰かに話をした、又は自分で解決できると答えた割合	【調査名】心のアンケート 【実施主体】県 【調査対象等】小・中・高等学校・特別支援学校の児童生徒(熊本市を除く)	81.2% (暫定値)	前年度を上回る
○不登校の児童生徒が、教職員だけでなく学校内外の専門機関等からの支援を受けている割合(公立小中学校)	【調査名】定例報告 【実施主体】県 【調査対象等】県内公立学校の児童生徒(熊本市を除く)	調査予定	100%
○不登校の児童生徒の校内教育支援センターの利用者数	【調査名】長欠調査 【実施主体】県 【調査対象等】県内市町村(熊本市を除く)	271人 (R5.9)	1.5倍以上

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と思う児童生徒の割合 (小中学校)	【調査名】全国学力・学習状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象等】全小学6年生、中学3年生(熊本市立、私立、国立の学校を除く)	小学校 74.8% 中学校 73.3%	前年度を上回る
○「授業の内容がよく分かる」と思う児童生徒の割合 (小中学校)	【調査名】全国学力・学習状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象等】全小学6年生、中学3年生(熊本市立、私立、国立の学校を除く)	小・国語 87.3% 小・算数 80.4% 中・国語 76.5% 中・数学 66.9% 中・英語 55.8%	前年度を上回る
○探究的な学びにおいて、整理や分析を踏まえて、自分の考えを分かりやすくまとめ、発表した生徒の割合 (高等学校)	【調査名】実績調査 【実施主体】県 【調査対象等】県立高校	調査予定	100%
○「運動やスポーツをすることが好き、どちらかというところ好き」と回答した児童生徒の割合	【調査名】 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 熊本県体力・運動能力、運動習慣等調査 【実施主体】スポーツ庁、県 【調査対象等】 小学5年生・中学2年生(熊本市立、私立、国立の学校を除く) 県立高校2年生	小5 88.7% 中2 81.3% 高2 82.0%	前年度を上回る

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○小学校・中学校及び義務教育学校において、通級による指導を受けている児童生徒数	【調査名】通級による指導実施状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象】小・中・義務教育学校において通級による指導を受けている児童生徒	1,187人 (R4)	1,500人
○小・中・高等学校及び特別支援学校教員が特別支援教育の専門性向上に資する研修を受講した割合	【調査名】教員研修プラットフォーム(Plant) 【実施主体】県 【調査対象等】小・中・高等学校教員・特別支援学校教員	調査予定	100%
○公立学校における日本語指導が必要な児童生徒のうち、日本語指導等特別な指導を受けている者の割合	【調査対象】日本語指導実施状況調査(仮称) 【実施主体】県 【調査対象等】県内公立小中学校(熊本市を除く)の日本語指導が必要な児童生徒	調査予定	100%

【基本的方向性5】産業人材、グローバル人材の育成

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○地域(産官学等)と連携したキャリア教育の取組に参加した高校生(全日制)の割合	【調査名】実績調査 【実施主体】県 【調査対象等】県立高校(全日制)	調査予定	未定
○中学3年生でCEFRのA1レベル相当(英検3級)以上を達成した生徒の割合	【調査名】英語教育実施状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象等】全中学3年生(国立、私立、熊本市立を除く)	45.3% (取得率: 34.4%) (R4)	60% (取得率: 40%)

資料 4

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○ 高校 3 年生で CEFR の A2 レベル相当 (英検準 2 級) 以上を達成した生徒の割合	【調査名】英語教育実施状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象等】全ての県立高校	42.2% (R4)	60%

【基本的方向性 6】魅力ある学校づくり

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○ 地元自治体や企業・大学等と連携した教育活動の回数 (年 20 回) を達成した学校の数	【調査名】実績調査 【実施主体】県 【対象】県立高校	26/50 校 (52%)	40/50 校 (80%)

【基本的方向性 7】子供たちの学びを支える環境づくり

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○ 本県教育委員会が実施する「初任者研修」「中堅教諭等資質向上研修」を受講し、資質能力の向上に「とても役立った」と回答した教員の割合	【調査名】研修受講者振り返りシート 【実施主体】県 【調査対象等】受講したすべての教員	調査予定	100%
○ 時間外在校等時間が月 45 時間以内の公立学校の教職員の割合 (県立・市町村立)	「熊本県立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」 ※市町村立学校については、各市町村教育委員会において定める規則等による。 【調査名】実績調査 【実施主体】県 【調査対象等】県立学校、市町村教育委員会	〔県立学校〕 75.9% (R4) 〔市町村立学校〕 68.3% (R4)	100%に向け、 月 45 時間を超える教職員の半減を目安に設定予定 ※調整中

資料 4

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合	【調査名】 全国学力・学習状況調査 熊本県教育委員会調査 【実施主体】文部科学省、県 【調査対象等】 小中学校等 県立高校	〔小学校〕 69.8% 〔中学校〕 66.7% 〔県立高校〕 63.0% (R4)	〔小学校〕 100% 〔中学校〕 100% 〔県立高校〕 100% ※調整中
○児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で1人1台端末を使用（ほぼ毎日＋週3回以上）させている学校の割合	【調査名】 全国学力・学習状況調査 熊本県教育委員会調査 【実施主体】文部科学省、県 【調査対象等】 小中学校等 県立高校	〔小学校〕 49.8% 〔中学校〕 41.4% 〔県立高校〕 45.0% (R4)	〔小学校〕 80% 〔中学校〕 80% 〔県立高校〕 80% ※調整中
○クラウドを活用した校務の効率化（保護者への連絡、アンケートの実施、会議のオンライン化等）に多くの校務で取り組んでいる学校の割合	【調査名】 全国学力・学習状況調査 熊本県教育委員会調査 【実施主体】文部科学省、県 【調査対象等】 小中学校等 県立高校	〔小学校〕 43.4% 〔中学校〕 48.8% 〔県立高校〕 100%	〔小学校〕 100% 〔中学校〕 100% 〔県立高校〕 100%

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○スポーツ実施率（週1回30分以上運動する割合）	【調査名】スポーツの実施状況等に関する世論調査 【実施主体】スポーツ庁 【調査対象等】20歳以上の男女	週1日以上 57.3%	週1日以上 70%
○国民スポーツ大会男女総合順位	【調査名】国民スポーツ大会 【実施主体】文部科学省、日本スポーツ協会、開催都道府県 【調査対象等】国民スポーツ大会男女総合順位	35位	20位以内

【基本的方向性9】災害からの復旧・復興

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)
○文化財(国・県指定、 国登録)の災害復旧 が進んでいる割合 (令和2年7月豪雨)	【調査名】実績取りまとめ 【実施主体】県 【対象】指定文化財	81%	100%